

第2号議案

日本作業療法士協会の基本理念承認の件

基本理念等策定に至る経緯

(議案書参照)

2023年度の組織改編に伴い、事務局の職員給与規程見直し及び人事管理制度の創設が必要となったが、これを行うためには、事務局内での検討だけでは解決できず、法人組織全体の「基本理念」に遡ってこれを確認し、そこから演繹的・体系的に人材の評価基準や給与体系を構築し直す必要性があることが自覚された。

そこで理事会は本件に特化した検討チームを設置し、日本作業療法士協会の基本理念、その財務体質のあり方をはじめ、職務権限・職能要件、人事管理制度、職員給与規程等の課題について集中的に検討を行わせることになった。

2023年度はまず「基本理念」と「財務体質のあり方」について検討したので、その成果を本総会に上程する。2024年度はこれらを踏まえて「職員給与規程の見直し及び人事管理制度の創設」に取り組み、2025年度からの導入を目指す。

基本理念等の目的

(議案書参照)

日本作業療法士協会の「基本理念」は、本会の定款に規定された事業及び事業目的と並んで、それらの事業を実施するにあたって本会が常に自覚しまた立ち返るべき価値観、社会的使命、基本姿勢を示し、本会の組織運営、財務管理、事業管理、人事管理の最終意思決定を行う際の指針となるものである。

基本理念等の検討経過

(議案書参照)

2024年度

- ・第1回定例理事会:職員給与規程見直し及び人事管理制度創設の検討チーム発足
- ・第5回定例理事会:日本作業療法士協会の基本理念の策定方針について承認
- ・第6回定例理事会:検討チーム内の基本理念ワーキンググループにて基本理念素案を提示
- ・2025年1月:常務理事会にて検討
- ・2025年2~3月:理事、社員、職員からの意見募集(配布資料:左欄①参照)
- ・第2回臨時理事会:基本理念案を提示および意見募集(配布資料:中央欄②参照)

2025年度

- ・歴代協会長へヒアリング(配布資料:中央欄②参照)
- ・会員パブリックコメントにて意見募集(2025年3月29日~4月11日)(配布資料:中央欄②参照)
- ・会員(20代、30代)へヒアリング(配布資料:中央欄②参照)
- ・第1回定例理事会:基本理念(活動方針と行動規範を含む)の承認
- ・社員総会へ提出

社員を対象とした基本理念アンケート回答結果 (配布資料:左欄①参照)

実施期間:3月9日~19日

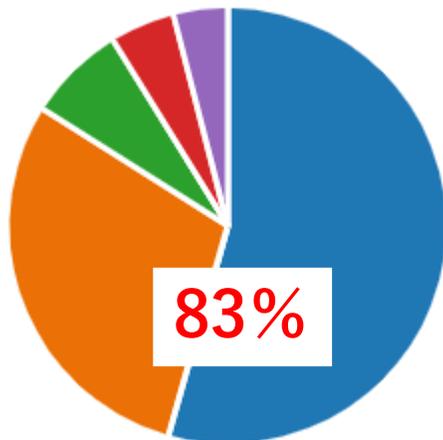
回答方法:Microsoft Forms

回答数:125/257(48.6%)

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない

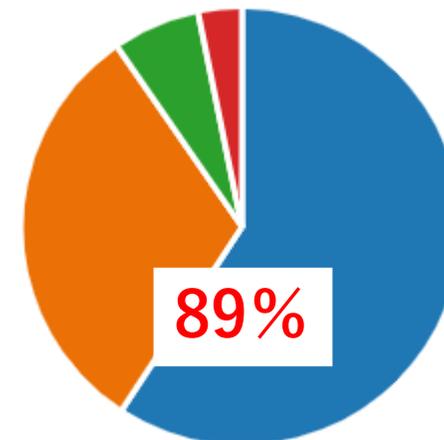
<Vision>

『作業で暮らしに彩りを 社会に優しさを』



<Value>

私たちには、
作業はすべての人にとって大切なものであり、
作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できる
という信念があります。



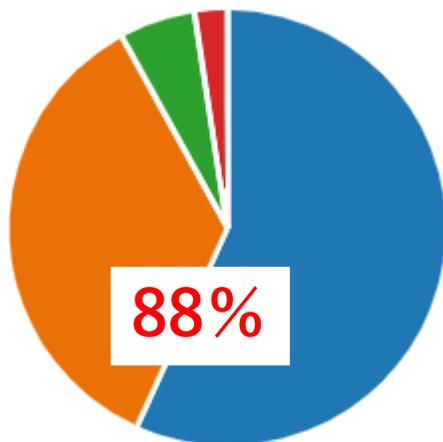
社員を対象とした基本理念アンケート回答結果 (配布資料:左欄①参照)

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない

<Mission>

常に最高水準の知識と技術を保ち続けます。
常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。
常に国民一人ひとりに寄り添い、必要な人と場所に
作業療法を提供し続けます。

そのさきに 私たちは
小さな喜びも幸せに感じられる彩りのある暮らしとさま
ざまな人が自分らしく生きられる優しい社会の実現に
貢献できると考えています。

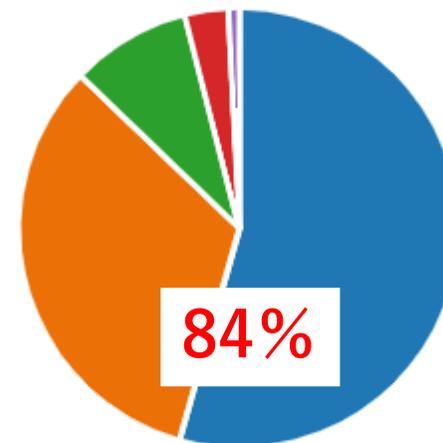


<活動方針>

1. 共に成長しよう
2. 共に作業療法を発展させよう
3. 必要な人に必要な場で作業療法を届けよう
4. 作業の意味と価値を伝えよう

<行動規範>

配布資料参照



第2回 臨時理事会に提案した基本理念(案) (配布資料:中央欄②参照)

作業で暮らしに彩りを 社会に優しさを

作業はすべての人にとって大切なものであり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという信念が、私たちにはあります。

常に質の高い知識と技術を保ち続けます。

常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。

常に一人ひとりに寄り添い、必要な人に必要な場所で作業療法を提供し続けます。

そのさきに 私たちは

小さな喜びも幸せに感じられる彩りのある暮らしと

さまざまな人が自分らしく生きられる優しい社会の実現に貢献できると考えています。

※ 活動方針・行動規範を含む

- ・ 臨時理事会審議
- ・ 会員パブリックコメント募集
- ・ 歴代協会長へヒアリング
- ・ 会員(20代、30代)へヒアリング

歴代協会長へヒアリング(4月上旬)

(配布資料:中央欄②参照)

鈴木 明子 先生 → ご体調を理由に未実施

矢谷 令子 先生 → 対面および書面

寺山 久美子 先生 → WEB会議システム

杉原 素子 先生 → WEB会議システム

中村 春基 先生 → WEB会議システム

<主な意見(抜粋)>

- ・協会の基本理念の策定への取り組みを応援する。
- ・作業療法の「作業」は国民にとって分かり難いので、どう伝えていくか。
- ・協会は、全国組織で、地域や士会との協業の視点を持つ。
- ・彩りとは、地域を大切にすることではないか。
- ・彩りは、多様性を意味していると考える。
- ・OTの説明、OTの専門性をもっと盛り込めると良い。
- ・ともに生きる社会は国の方針でもあるので、作業療法士が共生社会に入り込んでいくことが大切。
- ・本人の決定する力、考える力、自分で行動できる力などを理念の中に必要ではないか。
- ・「優しい」は省く。優しいだけではよくないので、避けた方が良いのではないか。
- ・英語版も検討してください。

基本理念パブリックコメント

(配布資料:中央欄②参照)

実施期間:3月29日~4月11日

周知方法:ホームページ、各種SNSなど

回答方法:Microsoft Forms

回答数:793 意見数:372

20代・30代へヒアリング

(配布資料:中央欄②参照)

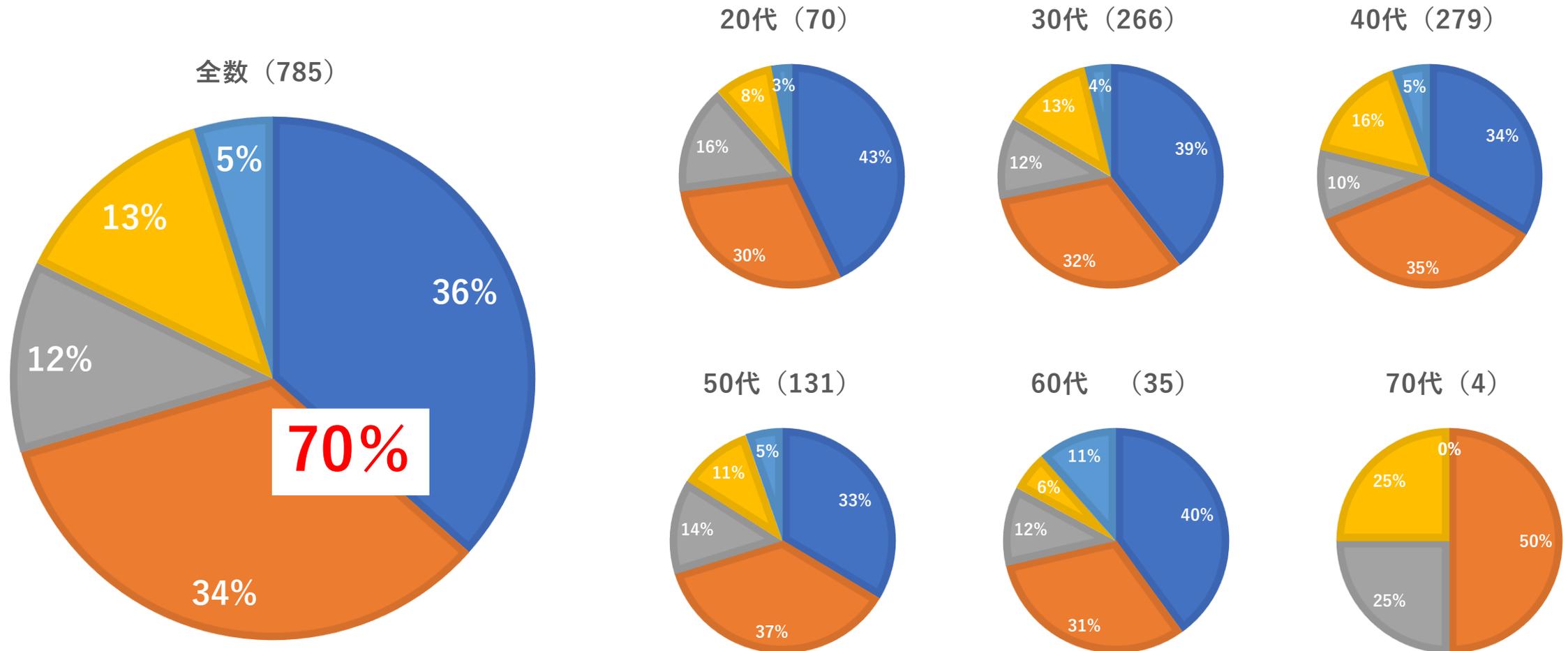
実施期間:4月上旬

	性別	地域	領域	所属
	女性	近畿	発達	児童サービス
	女性	関東	身障	大学病院
20代	女性	東北北海道	老健	老人保健施設
	女性	中国四国	地域	訪問看護リハ
	男性	東海北陸	精神	一般病院
	男性	関西	発達	診療所

	性別	ブロック	領域	所属
	男性	関東	精神	大学病院
	男性	九州沖縄	老健	老人保健施設
	女性	中国四国	発達	発達支援施設
30代	女性	近畿	身障	公立病院
	女性	東海北陸	地域	NPO法人
	女性(育休中)	近畿	身障・発達	リハセンター
	女性(育休中)	近畿	身障・発達	リハセンター
	男性	東北北海道	精神	一般病院

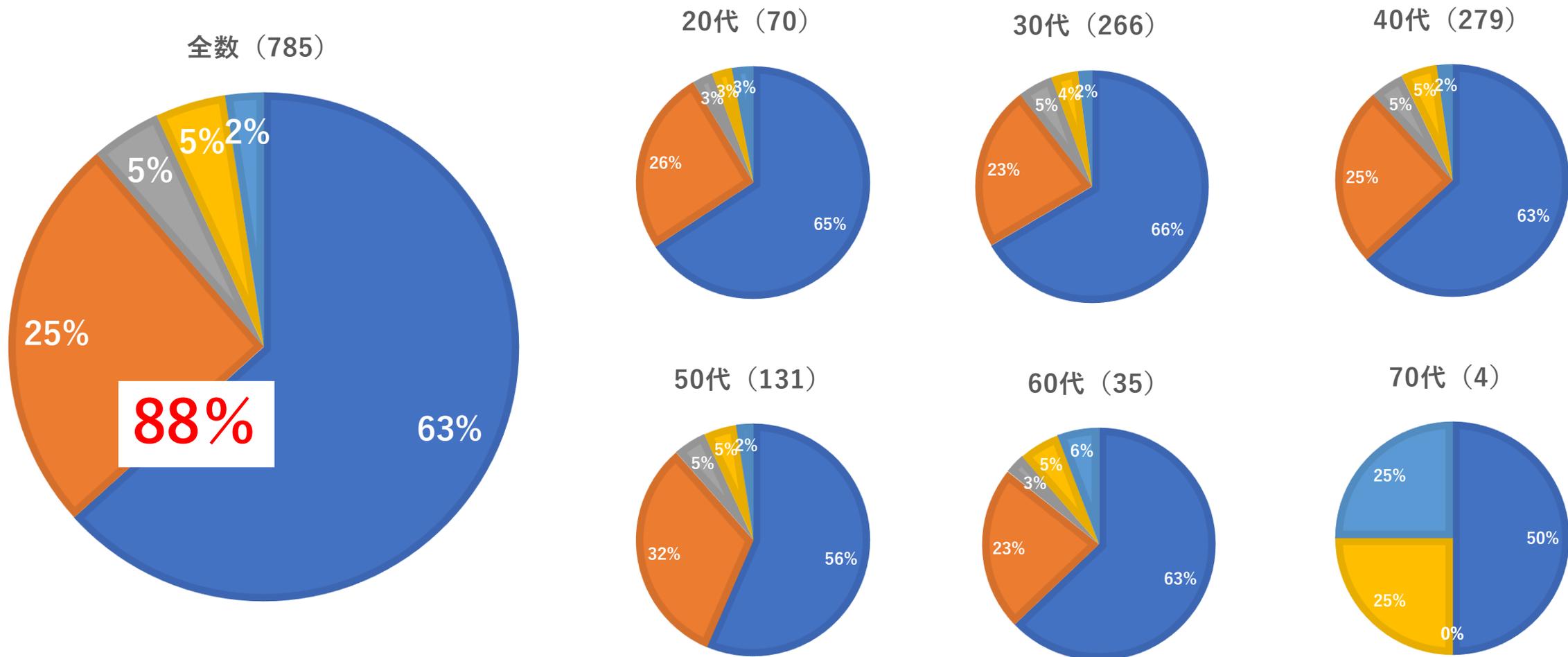
VISION 『作業で暮らしに彩りを 社会に優しさを』 (配布資料:中央欄②参照)

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない



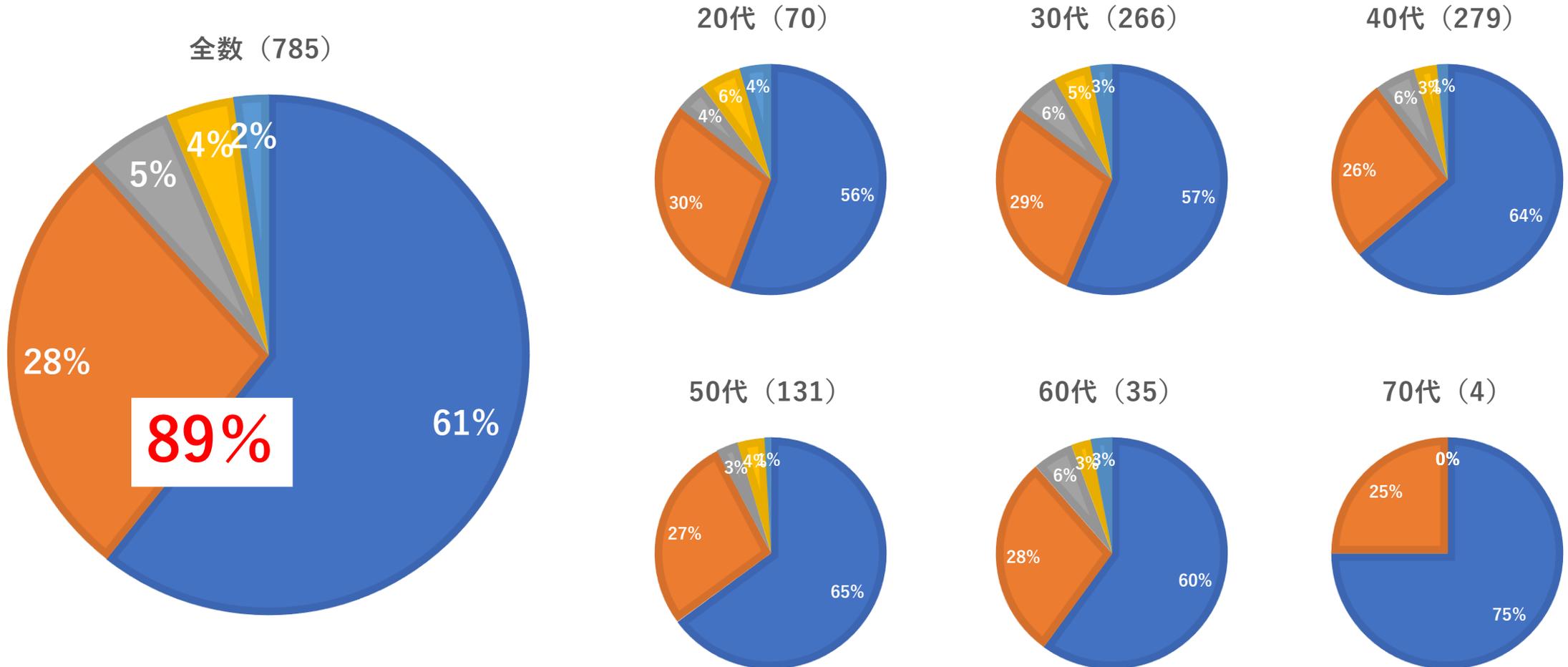
Value 作業はすべての人にとって大切なものであり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという信念が、私たちにはあります。

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない



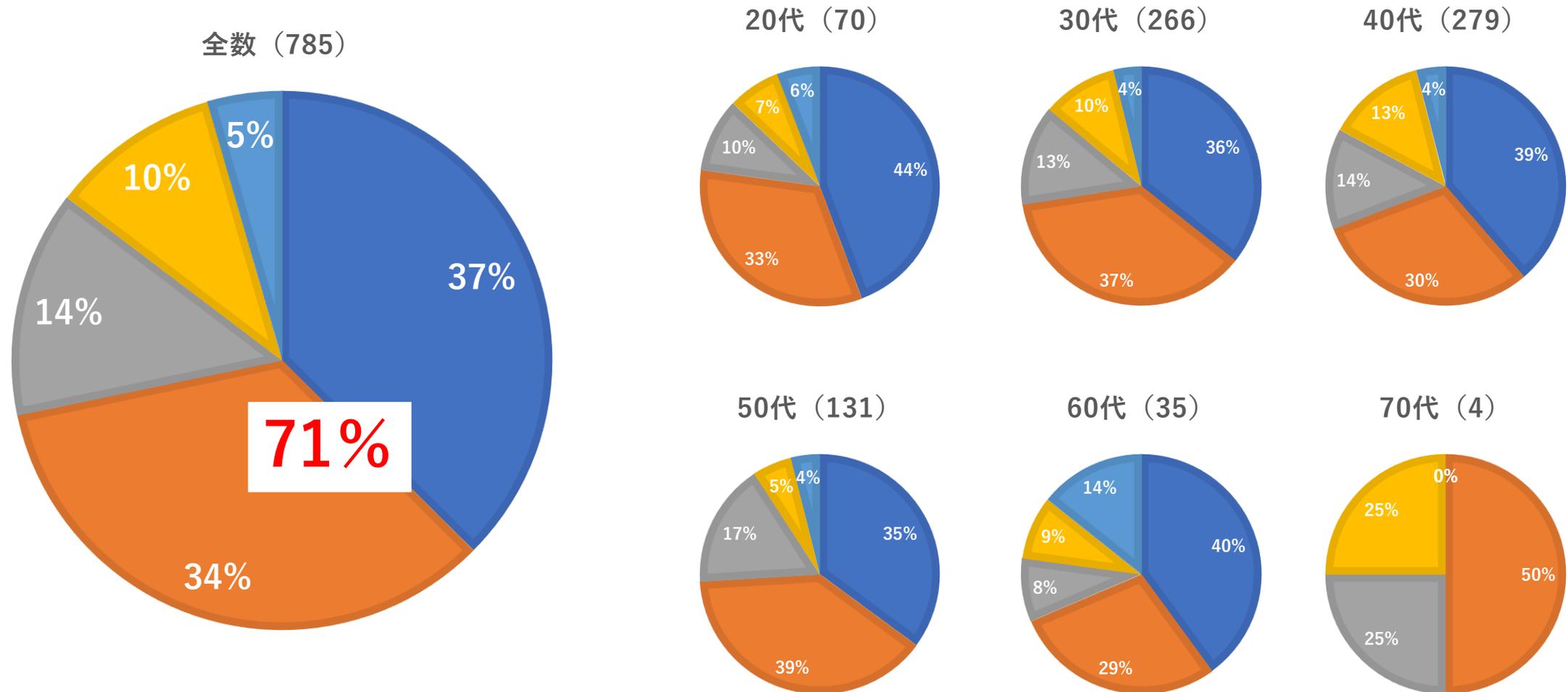
Mission 常に質の高い知識と技術を保ち続けます。
 常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。
 常に一人ひとりに寄り添い、必要な人に必要な場所で作業療法を提供し続けます。

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない



そのさきに 私たちは
小さな喜びも幸せに感じられる彩りのある暮らしと
さまざまな人が自分らしく生きられる優しい社会の実現に貢献できると考えています。

■ 共感する ■ やや共感する ■ どちらでもない ■ やや共感しない ■ 共感しない



日本作業療法士協会の基本理念（案）

（活動方針・行動規範を含む）

基本理念

(議案書参照) (配布資料:右欄③参照)

作業で暮らしに彩りを

作業 (Occupation) はすべての人にとって大切な生活行為や心身の活動であり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという確信が、私たちにはあります。

私たちは作業療法士の職能団体として、
常に質の高い知識と技術を保ち続けます。
常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。
常に一人ひとりに寄り添い、必要な人に、必要な時と場で作業療法を提供し続けます。

そのさきに私たちは、小さな喜びも幸せに感じられる色とりどりな暮らしと、さまざまな人が自分らしく生きられる社会の実現に貢献できると考えます。

活動方針・行動規範

(議案書参照) (配布資料:右欄③参照)

＜活動方針＞

1. 作業および作業療法の意味と価値を伝える。
2. 作業療法を学術的に発展させる。
3. 地域共生社会への参画と人材育成を推進する。
4. 社会的認知向上と身分保障を改善させる。
5. 協会・士会・職場・個人が協力して組織力を高める。

＜行動規範＞

1. 誠実に仕事に向き合い、自らの能力を最大限に発揮して、最善を尽くす。
2. 作業療法が健康と幸福に寄与し、作業療法がその人らしい暮らしを守り、社会に貢献できるという信念を持つ。
3. 他者の声にも耳を傾け、さまざまな考えや意見を尊重し、共に協働する。
4. 最新の作業療法の情報を発信し続ける。
5. 日本作業療法士協会および作業療法の利益を損なう、あるいは損なう恐れのある行為は行わない。
6. 社会の課題やニーズに関心を寄せ、新たな作業療法実践や日本作業療法士協会の事業について考える。
7. 日本作業療法士協会の理念に共鳴し、その事業にそれぞれの立場で参画する。

英語版

作業で暮らしに彩りを

Cherishing own life through occupations

作業（Occupation）はすべての人にとって大切な生活行為や心身の活動であり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという確信が、私たちにはあります。

Occupation refers to daily activities and physical and mental functions that are purposeful and meaningful to each person, and we believe that occupational therapy can promote the health and well-being of individuals through these occupations.

私たちは作業療法士の職能団体として、常に質の高い知識と技術を保ち続けます。常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。常に一人ひとりに寄り添い、必要な人に、必要な時と場で作業療法を提供し続けます。

As the national organisation representing the occupational therapy profession, we continue to: maintain the highest quality of knowledge and technique, pursue and explore the best occupational therapy practice, and be there for those who in need and provide occupational therapy services whenever and wherever needed.

そのさきに私たちは、小さな喜びも幸せに感じられる色とりどりな暮らしと、さまざまな人が自分らしく生きられる社会の実現に貢献できると考えます。

By doing so, we could empower all people, populations, and communities to cherish every little joy, and promote an inclusive society where people can live life the way they wish.

基本理念等の決議にあたり

- はじめて基本理念策定に取り組み、理事、社員、職員、歴代会長、全世代・領域が関わった
- それぞれの文章、表現を、何度も削除、変更する検討を行い、議論が一周し最終案にまとめられた

まずは、基本理念を持つことが重要

2025年度からの導入を目指す

「職員給与規程の見直し及び人事管理制度の創設」に取り組みたい。

- 今回の議論や意見募集は、協会の組織力・求心力のために重要である
- 今後も継続して検討および改定を必要な時期に行い、より良い形を探求し続ける

定時社員総会 第2号議案 日本作業療法士協会の「基本理念」等承認の件（資料）

基本理念等について、社員 WEB アンケートからの過程について以下の表に示す。

	①社員 WEB アンケート提示 (3/9-19)	②第2回臨時理事会 (3/23)	③第1回定例理事会 (4/20)
Vision	暮らしに彩りを 社会に優しさを	<u>作業で暮らしに彩りを 社会に優しさを</u>	作業で暮らしに彩りを 社会に優しさを
Value	私たちには、 作業はすべての人にとって大切なものであり、 作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できる という信念があります。	私たちには、 作業はすべての人にとって大切なものであり、作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという信念が、 <u>私たちにはあります。</u>	作業 (Occupation) はすべての人にとって大切な生活行為や心身の活動であり、 <u>作業療法は作業を通して健康と幸福に寄与できるという確信が、私たちにはあります。</u>
Mission	常に最高水準の知識と技術を保ち続けます。 常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。 常に国民一人ひとりに寄り添い、必要な人と場所に作業療法を提供し続けます。	常に <u>質の高い</u> 知識と技術を保ち続けます。 常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。 常に一人ひとりに寄り添い、 <u>必要な人に必要な場で</u> 作業療法を提供し続けます。	<u>私たちは作業療法士の職能団体として、常に質の高い知識と技術を保ち続けます。常に最善の作業療法を探求し創造し続けます。常に一人ひとりに寄り添い、必要な人に、必要な時と場で作業療法を提供し続けます。</u>
	そのさきに 私たちは 小さな喜びも幸せに感じられる彩りのある暮らしとさまざまな人が自分らしく生きられる優しい社会の実現に貢献できると考えています。	そのさきに 私たちは 小さな喜びも幸せに感じられる彩りのある暮らしとさまざまな人が自分らしく生きられる <u>優しい</u> 社会の実現に貢献できると考えています。	そのさきに 私たちは 小さな喜びも幸せに感じられる <u>色とりどりの暮らしと</u> さまざまな人が自分らしく生きられる社会の実現に貢献できると <u>考え</u> ます。

	社員 WEB アンケート (3/9-19)	第 2 回臨時理事会 (3/23)	第 1 回定例理事会 (4/20)
<活動方針>	1. 共に成長しよう 2. 共に作業療法を発展させよう 3. 必要な人に必要な場で作業療法を届けよう 4. 作業の意味と価値を伝えよう	1. 共に成長する 2. 共に作業療法を発展させる 3. 必要な人に必要な場で作業療法を届ける 4. 作業の意味と価値を伝える	1. <u>作業および作業療法の意味と価値を伝える</u> 2. <u>共に作業療法を学術的に発展させる</u> 3. <u>地域共生社会への参画と人材育成を推進する</u> 4. <u>社会的認知向上と身分保障を改善させる</u> 5. <u>協会・士会・職場・個人が協力して組織力を高める</u>
<行動規範>	1. 誠実に仕事をし、自らの能力を最大限に発揮して、最善を尽くします。 2. 仲間のアイデアに耳を傾け、様々な考えや意見を尊重します。 3. 日本作業療法士協会および作業療法の利益を損なうあるいは損なう恐れのある行為は行いません。 4. 作業療法に興味を持ち、愛します。作業療法が有用であり、作業療法で社会を変えろという信念を持ちます。 5. 社会のニーズに興味を持ち、常に情報収集し、ネットワークを広げます。 6. 協会の理念に共鳴し、協会事業にそれぞれの立場で参画します。 7. 常に作業療法の現場と対象者のことを考えて、最善を尽くします。 8. 常に最新の作業療法の情報を発信します。	1. 誠実に仕事をし、自らの能力を最大限に発揮して、 <u>最善を尽くす</u> 。 2. 仲間のアイデアに耳を傾け、様々な考えや意見を <u>尊重する</u> 。 3. 日本作業療法士協会および作業療法の利益を損なう、あるいは損なう恐れのある行為は <u>行わない</u> 。 4. 作業療法に興味を持ち、 <u>大切にする</u> 。作業療法が有用であり、作業療法で社会を変えろという信念を持つ。 5. 社会のニーズに興味を持ち、常に情報収集し、ネットワークを広げる。 6. <u>日本作業療法士協会の理念に共鳴し、その事業にそれぞれの立場で参画する</u> 。 7. 常に <u>作業療法と会員・職員の働く環境</u> を考えて、 <u>最善を尽くす</u> 。 8. 常に最新の作業療法の情報を <u>発信する</u> 。	1. 誠実に仕事に <u>向き合い</u> 、自らの能力を最大限に発揮して、最善を尽くす。 2. <u>作業療法が健康と幸福に寄与し、作業療法がその人らしい暮らしを守り、社会に貢献できるという信念を持つ</u> 。 23. <u>他者の声にも耳を傾け、さまざまな考えや意見を尊重し、共に協働する</u> 。 84. <u>最新の作業療法の情報を発信し続ける</u> 。 35. 日本作業療法士協会および作業療法の利益を損なう、あるいは損なう恐れのある行為は行わない。 56. <u>社会の課題やニーズに関心を寄せ、新たな作業療法実践や日本作業療法士協会の事業について考える</u> 。 67. 日本作業療法士協会の理念に共鳴し、その事業にそれぞれの立場で参画する。